

設定来の運用状況と 今後の運用方針

GRAN NEXT

GRAN NEXT エネルギー

GRAN NEXT テクノロジー

GRAN NEXT フード

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

GRAN NEXT モビリティ

追加型投信／内外／株式

GRAN NEXT マネープールファンド

追加型投信／国内／債券

設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

※本資料は「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ/GRAN NEXT マネープールファンド」の概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書（交付目論見書）をご確認いただく必要があります。本資料は、ブラックロック・ジャパン（以下、ブラックロックという場合があります）の資料・コメントを基に作成しています。



GRAN NEXT エネルギー

環境政策の進展や
経済活動の再開が追い風に

設定来騰落率

(期間：2021年1月19日(設定日)～
2022年2月28日、日次)

2.1%

P1～3において、GRAN NEXT エネルギーを
「当ファンド」という場合があります。

設定来の基準価額(分配金再投資)推移

(期間：2021年1月19日(設定日)～2022年2月28日、日次)



・基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。また、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

1 設定来～2021年3月末 | 期間内騰落率 2.3%

各国の環境政策の追い風を受けた自動車技術やエネルギーの効率利用に関する業種その他、好調な電気自動車(EV)の販売を背景としてオン・セミコンダクター(米国)等の銘柄がプラスに寄与しました。一方、建設コストの上昇等が懸念されてクリーンエネルギーに関する業種がマイナスに影響しました。

2 2021年3月末～6月末 | 期間内騰落率 6.5%

ジョンソン・コントロールズ・インターナショナル(米国)等、新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)により停滞した経済活動の再開が進む中で需要の増加が期待された建設・工業製品に関する業種がプラスに寄与しました。一方、再生可能エネルギー技術に関する業種がマイナスに影響しました。

3 2021年6月末～9月末 | 期間内騰落率 1.1%

クリーンエネルギー契約事業の買収計画が好意的に受け止められたクアンタ・サービシーズ(米国)や、2021年上半期の業績が堅調だった建設・工業製品や自動車技術に関する業種の銘柄がプラスに寄与しました。一方、クリーンエネルギーに関する業種がマイナスに影響しました。

4 2021年9月末～2022年2月末 | 期間内騰落率 -7.3%

2021年中は、ネクステラ・エナジー(米国)等のクリーンエネルギーに関する業種がプラスに寄与しました。2022年に入ると、地政学リスクの高まりや米国の金利上昇懸念等により投資家心理が悪化したと考えられること等から、2021年来株価が上昇傾向にあったアナログ・デバイス(米国)等が下落しました。

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの運用に影響を与えた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・設定来騰落率および期間内騰落率は基準価額(分配金再投資)を基に算出しています。・設定来騰落率および2021年3月末までの期間内騰落率は、10,000を起点として計算しています。

パフォーマンス寄与度は、実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズ・サステナブル・エナジー・ファンド」の運用状況です。

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。・GRAN NEXT エネルギーは、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・サステナブル・エナジー・ファンドークラスX2・円建て」を主要投資対象とします。

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度上位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
オン・セミコンダクター	自動車技術	2.9%	1.6%
ジョンソン・コントロールズ・インターナショナル	建設・工業製品	2.8%	1.3%
シュナイダーエレクトリック	建設・工業製品	3.9%	1.2%
シーカ	建設・工業製品	2.8%	1.2%
キングスパン・グループ	建設・工業製品	2.5%	1.1%

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度下位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
エネル	クリーンエネルギー	4.6%	-1.1%
ヴェスタス・ウィンド・システムズ	再生可能エネルギー技術	2.0%	-1.0%
カナディアン・ソーラー	再生可能エネルギー技術	1.2%	-0.9%
サンラン	再生可能エネルギー技術	1.3%	-0.6%
サムスンSDI	自動車技術	3.7%	-0.5%

(出所) ブラックロックのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。(2021年12月末時点)・寄与度は当ファンドの投資対象ファンドに対する概算の寄与度をブラックロックが計算したものです。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

パフォーマンス寄与度上位1位銘柄

オン・セミコンダクター

業種	自動車技術		
国・地域	米国	組入比率	2.9 %

企業概要

大手半導体メーカー。同社の製品は、EVや5G用の基地局、IoT（モノのインターネット）等に使用される。

運用チームのコメント

同社は2021年、EV向けの半導体需要の高まり等から好調な業績となりました。近年のデジタル化によって、高い半導体需要の中でも、複数の受賞歴がある同社は高い技術力を持つと考えており、引き続き魅力的な投資先となるでしょう。

株価の推移（ご参考）

(期間：2021年1月19日（設定日）～2021年12月31日、日次)



(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度上位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

業種	クリーンエネルギー		
国・地域	イタリア	組入比率	4.6 %

企業概要

多国籍電力会社。企業・家庭向けに電力やガス、クリーンエネルギーの生産や配電を行う。

運用チームのコメント

同社は2021年、スペイン政府による光熱費の値上げ制限等を受け、株価が下落しました。同社は2027年までに石炭発電、2040年までにガス発電から撤退することを目指す等、脱炭素に向けた投資を進めていることから、中長期的な成長を見込み、保有を継続しています。

株価の推移（ご参考）



(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度下位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

当ファンドの今後の運用方針

コロナ禍以降の各国の経済政策では、経済的利益のみならず、持続可能な経済の推進が焦点の一つとなっています。特にEUは、2030年に温室効果ガスの排出量を55%削減（1990年比）する目標「Fit for 55」を発表し、最終エネルギー消費に占めるクリーンエネルギーの割合を40%にすることを決めました。加えて民間企業もコーポレートPPA（クリーンエネルギー発電事業者からの長期直接調達契約）等を進めており、政府のみならず政府と民間の両方からクリーンエネルギーの導入ペースを加速させると期待しています。

中でも、洋上風力発電については、欧州における電力容量が2030年までに60ギガワット、2050年までに300ギガワットと大幅に拡大が予想*されています。今後もそれに伴う成長期待等から、クリーンエネルギーの中でも特に洋上風力発電分野に注目して投資を行っていきます。持続可能な経済への関心の高まりによって、多くの既存産業やビジネスモデルが変革を求められている中、こうしたエネルギーを取り巻くトレンドを捉えながら、今後も当ファンドの中長期的な成長を目指してまいります。

* (出所) WindEuropeのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
2020年11月19日時点

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

欧州のコーポレートPPAによる電力容量

(ギガワット)



(出所) Re-Source Platformのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
(期間) 2013年～2021年、年次



GRAN NEXT テクノロジー

非対面サービス定着の
追い風を受けるも、
金利上昇等が逆風に

設定来騰落率

(期間：2021年1月19日(設定日)～
2022年2月28日、日次)

-9.1%

P4～6において、GRAN NEXT テクノロジー
を「当ファンド」という場合があります。

設定来の基準価額(分配金再投資)推移

(期間：2021年1月19日(設定日)～2022年2月28日、日次)



・基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。また、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

1 設定来～2021年3月末 | 期間内騰落率 **-3.9%**

コロナ禍での非対面サービスの普及に伴い業績が改善したカカオ(韓国)等がプラスに寄与した一方で、米国金利上昇への懸念や新型コロナのワクチン普及による景気回復期待から、バリュー株式優位な市場環境となり、当ファンドでも組み入れているグロース株式を中心に軟調な動きとなりました。

2 2021年3月末～6月末 | 期間内騰落率 **14.0%**

非対面サービスが定着する中で、新たなビジネスへの活用が進んだカカオ(韓国)等のインターネット(ソーシャルメディア)関連銘柄や、景気回復の恩恵を受けたハードウェア(電子部品)関連銘柄がプラスに寄与しました。

3 2021年6月末～9月末 | 期間内騰落率 **-0.4%**

各国の環境政策の追い風を受けて電気自動車(EV)に関する銘柄等がプラスに寄与する一方、中国の経済指標が成長の鈍化を示したこと等により、中国でビジネスを展開している企業が業績悪化懸念を背景に売り越しとなり、マイナスに影響しました。

4 2021年9月末～2022年2月末 | 期間内騰落率 **-16.7%**

米国における金融引き締め姿勢や地政学リスク、高い株価のバリュエーション(割高・割安の度合い)等が懸念されたことで、グロース株式全体が下落傾向となりました。これにより、グロース株式を含む当ファンドも影響を受け、大幅なマイナスとなりました。

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの運用に影響を与えた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・設定来騰落率および期間内騰落率は基準価額(分配金再投資)を基に算出しています。

パフォーマンス寄与度は、実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・テクノロジー・ファンド」の運用状況です。

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。・GRAN NEXT テクノロジーは、「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・テクノロジー・ファンドークラスI2・円建て」を主要投資対象とします。

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度上位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
マイクロソフト	ソフトウェア	4.9%	1.8%
マーベル・テクノロジー	半導体	3.4%	1.7%
アップル	ハードウェア	5.3%	1.6%
アルファベット	インターネット	3.0%	1.1%
エヌビディア	半導体	1.8%	1.0%

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度下位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
チェグ	テクノロジーを活用した新産業	組入なし	-0.8%
マガジネ・ルイーザ	インターネット	組入なし	-0.7%
LG化学	ハードウェア	組入なし	-0.6%
ロク	インターネット	0.6%	-0.6%
トゥイリオ	ソフトウェア	1.2%	-0.5%

(出所) ブラックロックのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。
(2021年12月末時点) ・寄与度は当ファンドの投資対象ファンドに対する概算の寄与度をブラックロックが計算したものです。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

パフォーマンス寄与度上位1位銘柄 **マイクロソフト**

業種	ソフトウェア		
国・地域	米国	組入比率	4.9 %

企業概要

ソフトウェアメーカー。多様なソフトウェア製品、サービス、デバイスを提供。

運用チームのコメント

同社は2021年、リモートワーク等を通じた非対面ニーズを背景として、業績が伸長したこと等から株価が上昇しました。今後も非対面ニーズは継続すると予想していることから、底堅い収益を見込んでいます。

(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度上位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

株価の推移（ご参考）

(期間：2021年1月19日（設定日）～2021年12月31日、日次)



業種	テクノロジーを活用した新産業		
国・地域	米国	組入比率	組入なし

企業概要

教育テクノロジー企業。デジタル教科書のレンタルや情報サイト等の学生向けサービスを提供。

運用チームのコメント

各国でロックダウンが終わり、対面授業が再開されたこと等から、ビジネスモデルへの期待感が剥落し、同社の株価は下落しました。新型コロナウイルス収束後のビジネスモデル転換への不透明感等から、株価が下落した2021年11月頃同社の株式は全売却しました。

(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度下位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

株価の推移（ご参考）

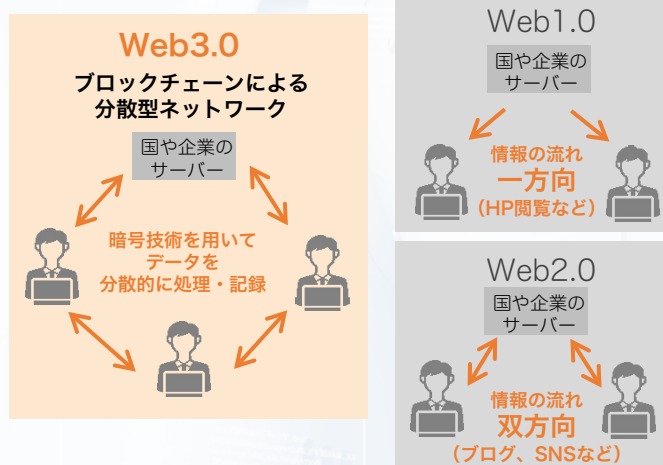


当ファンドの今後の運用方針

2021年は、企業の長期的な成長トレンドにもかかわらず、高い株価のバリュエーション等が懸念され株価には不安定な動きが見られました。しかし、現代におけるテクノロジーの重要性は変わることはありません。テクノロジーとテクノロジーが、またテクノロジーと別の産業が結びつくことで新たなビジネスチャンスが生み出されています。引き続き、AI（人工知能）、半導体、デジタルトランスフォーメーション、EV、フィンテックに関連する企業は魅力的だと考えています。

加えて、運用チームは新たな分野として、メタバース（インターネット上の仮想空間）、Web3.0、クリエイターエコノミー（個人の情報発信やアクションによって形成される経済圏）、宇宙などに目を向けています。テクノロジー分野の成長は多くの有望なテーマに下支えされており、イノベーションに着目する投資家のみなさまに今後も魅力的な投資機会をご提供していくことを目指します。

Web3.0とは（イメージ）



(出所) 各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。



GRAN NEXT フード

経済活動の再開が追い風
となるも、一部銘柄が
足かせに

設定来騰落率

(期間：2021年1月19日(設定日)～
2022年2月28日、日次)

-1.1%

設定来の基準価額(分配金再投資)推移

(期間：2021年1月19日(設定日)～2022年2月28日、日次)



・基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。また、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

1 設定来～2021年3月末 | 期間内騰落率 **8.9%**

各国の、新型コロナにより停滞した経済活動の再開に向けた動きから需要の回復が期待された、機械類や食品小売業に関する業種がプラス寄与したことに加え、個別銘柄では堅調な業績が評価されたディア(米国)等がパフォーマンスに貢献しました。

2 2021年3月末～6月末 | 期間内騰落率 **5.9%**

経済活動の再開が進む中で、引き続き機械類に関する業種がプラスに寄与しました。個別銘柄では、買収が発表されたレーベン・インダストリーズ(米国)や、商品の販売が好調なベルリッング・ブランドズ(米国)がパフォーマンスに貢献しました。

3 2021年6月末～9月末 | 期間内騰落率 **-5.9%**

好調な業績を背景にトラクター・サプライ(米国)等がプラスに寄与した一方で、新型コロナの感染再拡大による供給網混乱への懸念や中国の経済成長の不確実性の拡大によって、経済活動再開への期待が剥落し、主にフードテクノロジーに関する業種がマイナスに影響しました。

4 2021年9月末～2022年2月末 | 期間内騰落率 **-8.9%**

2021年中は、業績が不調なフレッシュベット(米国)やガバナンスが懸念されたTHG(英国)等がマイナスに影響しました。2022年に入ると、株式市場が下落する中で特に2021年に上昇傾向にあったトラクター・サプライ(米国)等が下落しました。

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの運用に影響を与えた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・設定来騰落率および期間内騰落率は基準価額(分配金再投資)を基に算出しています。

P7～9において、GRAN NEXT フードを「当ファンド」という場合があります。

パフォーマンス寄与度は、実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンド」の運用状況です。

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。・GRAN NEXT フードは、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンドークラスI2・円建て」を主要投資対象とします。

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度上位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
コストコホールセール	食品小売業	4.1%	1.8%
トラクター・サプライ	小売り・流通業	4.4%	1.7%
コーニンクレッカDSM	原材料	4.2%	1.2%
レーベン・インダストリーズ	フードテクノロジー	組入なし	1.2%
ディア	機械類	3.9%	1.0%

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度下位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
THG	フードテクノロジー	1.2%	-2.6%
フロー・ビバレッジ	飲料メーカー	0.7%	-2.1%
ハイドロファーム・ホールディングス	フードテクノロジー	0.04%	-1.3%
レアード・スーパーフード	ダイエット・健康	0.7%	-1.1%
フレッシュペット	ペットの健康と栄養	2.1%	-0.9%

(出所) ブラックロックのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。
(2021年12月末時点) ・寄与度は当ファンドの投資対象ファンドに対する概算の寄与度をブラックロックが計算したものです。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

パフォーマンス寄与度上位1位銘柄 **コストコホールセール**

業種	食品小売業		
国・地域	米国	組入比率	4.1 %

企業概要

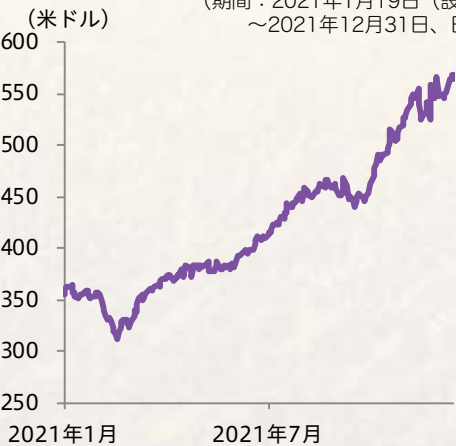
世界各国に展開する大型量販店チェーン。

運用チームのコメント

同社は既存の路面店事業だけでなく、eコマース（電子商取引）事業にも力を入れており、2021年のオンライン売上高は大幅に増加しました。今後も顧客との接点を拡充すると見ており、同社の量販店ビジネスの成長を見込んでいます。

株価の推移（ご参考）

(期間：2021年1月19日（設定日）～2021年12月31日、日次)



(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度上位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

業種	フードテクノロジー		
国・地域	イギリス	組入比率	1.2 %

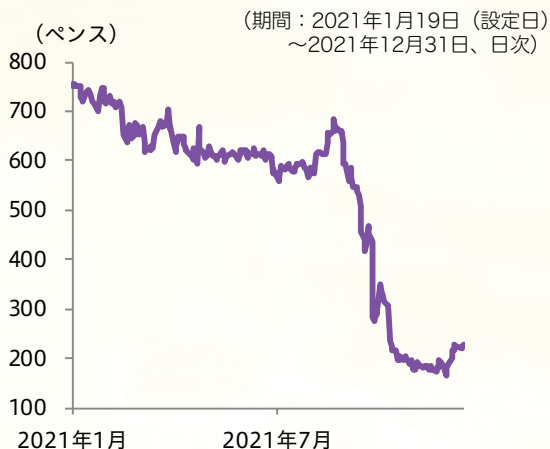
企業概要

英国のeコマース企業。独自のプラットフォームを通じて、各種オンライン販売を手掛ける。

運用チームのコメント

同社は2021年、創業者の保有株式等をめぐるコーポレートガバナンスへの懸念を理由に、株価が下落しました。事業自体の見通しの方向感はずばりだと考えているため、保有は継続しています。

株価の推移（ご参考）



(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度下位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

当ファンドの今後の運用方針

当ファンドでは、食に関連する3つの変化（生産方法、購入方法、食生活）に注目しています。食の分野は環境との関連が深く、投資にあたっては欠かすことの出来ない視点と考えられ、加えて現状、食料品の生産工程や農作物・家畜を育成する過程で多くの温室効果ガスが排出されていること等を背景に、食品・農業関連企業にとって環境に対する取組みが喫緊の課題となっています。当運用チームは、近年身近になりつつある代替タンパク質を環境負荷を減らすイノベーションの1つと捉え、特に代替タンパク質のセクターに注目し、魅力的な投資機会の発掘を目指しています。

また最近では、欧州を中心に食品の環境負荷を評価する「エコ・スコア」の導入が進んでいます。食品関連のIT企業や市民団体、大手スーパーなどが導入開始を発表しているこのエコ・スコアは二酸化炭素排出量や水の使用量など様々な要素に基づいて環境負荷の低いものから高いものに評価したラベルで、食品パッケージにこのエコ・スコアを表示させることで、食品の環境負荷を消費者が比較しやすくなるとともに、各社がより環境に配慮した食品の製造・流通方法を模索することを目的としています。

このような食を取り巻く変化を捉えながら、今後も、当ファンドの中長期的な成長を目指し銘柄選定を行ってまいります。

環境に与えるインパクト
(ハンバーガー1個あたり)

温室効果ガス排出量



(出所) statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
(時点) 2017年
※画像はイメージです。

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。



GRAN NEXT ヘルス サイエンス

手術など医療行為の再開と
新型コロナ変異株の出現が
追い風に

設定来騰落率

(期間：2021年1月19日(設定日)～
2022年2月28日、日次)

9.9%

P10～12において、GRAN NEXT ヘルスサイエンスを「当ファンド」という場合があります。

設定来の基準価額(分配金再投資)推移

(期間：2021年1月19日(設定日)～2022年2月28日、日次)



・基準価額(分配金再投資)は、1万円当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。また、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

1 設定来～2021年3月末 | 期間内騰落率 2.1%

新型コロナワクチンの普及から、コロナ禍で延期されていた手術や医療行為が再開することが期待され、創薬等を行うノバルティス(スイス)といった医薬品等に関する業種がプラスに寄与しました。一方、米国の金利上昇懸念から、グロース株式が嫌気されバイオテクノロジー開発に関する業種等がマイナスに影響しました。

2 2021年3月末～6月末 | 期間内騰落率 9.1%

新型コロナの変異株(デルタ株)の出現に伴って、ワクチン開発や治療等により恩恵を受けることが期待された、ヘルスケア製品・サービスを提供するジョンソン・エンド・ジョンソン(米国)等がプラスに寄与しました。

3 2021年6月末～9月末 | 期間内騰落率 -1.3%

新型コロナ対策が各国で進展し需要終息への目途が立ったと考えられたこと等から、各種診断・分析機器等を取り扱うダナハー(米国)といった、医療機器・用品に関する業種の株価が軟調となり、マイナスに影響しました。

4 2021年9月末～2022年2月末 | 期間内騰落率 0.0%

2021年中は、新型コロナの変異株(オミクロン株)の出現に伴って、改めてワクチン開発・治療等で恩恵を受けると期待された、創薬等を行う医薬品企業であるファイザー(米国)等がプラスに寄与しました。2022年に入ると、2021年に、バリュエーションが相対的に割安でビジネスが安定していると考えられた医薬品に関する業種の組み入れを増やしていたこと等が、株式市場が下落する中での相対的なパフォーマンスの安定につながりました。

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの運用に影響を与えた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・設定来騰落率および期間内騰落率は基準価額(分配金再投資)を基に算出しています。

パフォーマンス寄与度は、実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンド」の運用状況です。

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。・GRAN NEXT ヘルスサイエンスは、「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンドークラスI2・円建て」を主要投資対象とします。

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度上位5銘柄

（期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次）

銘柄	業種	組入比率	寄与度
ファイザー	医薬品	3.2%	2.5%
ユナイテッドヘルス・グループ	医療	7.3%	2.3%
サーモフィッシャーサイエンティフィック	医療機器・用品	4.8%	1.6%
アボットラボラトリーズ	医療機器・用品	5.4%	1.3%
イーライリリー	医薬品	2.8%	1.1%

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度下位5銘柄

（期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次）

銘柄	業種	組入比率	寄与度
バイオジェン	バイオテクノロジー開発	1.2%	-0.5%
ハンソン・ファーマスーティカル・グループ	医薬品	0.3%	-0.5%
アメディシス	医療	0.4%	-0.4%
モデルナ	バイオテクノロジー開発	0.6%	-0.4%
テラドック・ヘルス	医療	0.2%	-0.3%

（出所）ブラックロックのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。（2021年12月末時点）・寄与度は当ファンドの投資対象ファンドに対する概算の寄与度をブラックロックが計算したものです。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

パフォーマンス寄与度上位1位銘柄

ファイザー

業種	医薬品
国・地域	米国
組入比率	3.2 %

企業概要

世界中で事業を展開する医薬品企業。創薬等に向けた研究開発・提供を行う。

運用チームのコメント

2021年10月、FDA（米食品医薬品局）により同社製の新型コロナワクチンについて、5～11歳の子どもへの緊急使用が許可されたこと等から、同社のワクチン需要は高まると見ています。加えて、複数の有望な新薬候補を持っていること等から、今後の成長も期待されます。

（出所）ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度上位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

株価の推移（ご参考）

（期間：2021年1月19日（設定日）～2021年12月31日、日次）



業種	バイオテクノロジー開発		
国・地域	米国	組入比率	1.2 %

企業概要

多様な疾患向けの医薬品の開発・製造・販売を行うバイオテクノロジー開発企業。

運用チームのコメント

同社は2021年、アルツハイマー型認知症治療薬についてFDAの迅速承認を取得したことで株価が急騰しましたが、その後の有効性に関する見解や別の治療薬での臨床試験の結果が芳しくなかったこと等から株価が下落しました。各種治療薬の動向次第で株価上昇が期待できると考え、引き続き保有しています。

株価の推移（ご参考）



（出所）ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度下位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

当ファンドの今後の運用方針

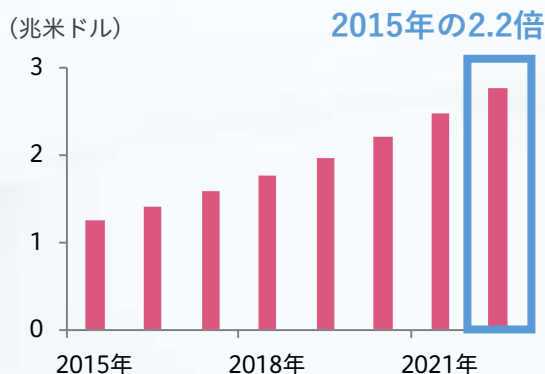
先進国のみならず、新興国においても進む高齢化は、今後もヘルスサイエンス関連企業・サービスに対する底堅い需要を生むとみています。このようなメガトレンドに加え、イノベーションとの親和性が高いと考えられるヘルスサイエンスの分野においては、コロナ禍で注目を浴びた遠隔診断や手術支援ロボットを活用した低侵襲（患者の負担が少ない）医療技術など、テクノロジーを活用した目覚ましい技術・サービスに加えて、個人の症状に応じた医療行為（個別化医療）を行う取組みも進んでいます。こうした新たな取組みが生活に定着することは、関連企業の成長につながると考えることから、当運用チームでは、特に上記の分野に注目し魅力的な投資機会の発掘を目指しています。

個別化医療とは

従来は同じ病気と診断された患者には同じ治療や薬が処方されていましたが、人の体質によってその治療の効果や副作用に個人差があります。このような個人差は遺伝子に関わっていることが研究で分かってきました。

そこで、個別化医療では治療を始める前に患者の遺伝子などを検査し、より効果が高く副作用が少ないと見込まれる薬を投与し、個人に合わせた治療を行います。

個別化医療の市場規模（推計値）



（出所）statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
（期間）2015年～2022年、年次

（出所）ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。



GRAN NEXT モビリティ

EVの底堅い需要が支えに

設定来騰落率

(期間：2021年1月19日(設定日)～
2022年2月28日、日次)

4.5%

P13～15において、GRAN NEXT モビリティ
を「当ファンド」という場合があります。

設定来の基準価額(分配金再投資)推移

(期間：2021年1月19日(設定日)～2022年2月28日、日次)



・基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。また、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

1 設定来～2021年3月末 | 期間内騰落率 3.6%

中国が米国へのレアアースの輸出を制限する可能性があるとの懸念からライナス・レア・アース(オーストラリア)等がプラスに寄与しました。一方で、業績低下が懸念されたBYD(中国)等がマイナスに影響しました。

2 2021年3月末～6月末 | 期間内騰落率 8.3%

中国の好調な電気自動車(EV)販売を背景に、ジーリー・オートモービル・ホールディングス(中国)等がパフォーマンスに貢献した他、経済活動の再開が進む中で、需要増加が期待されたシステム・部品に関する業種がプラスに寄与しました。一方で、サプライチェーンのひっ迫による収益成長への影響が懸念され、インフィニオン・テクノロジーズ(ドイツ)等がマイナスに影響しました。

3 2021年6月末～9月末 | 期間内騰落率 1.4%

中国の経済成長鈍化への懸念等から、システム・部品に関する業種がマイナスに影響しました。個別銘柄では、EV用電池の需要を受けたこと等から、アルベマール(米国)、オン・セミコンダクター(米国)等がプラスに寄与した一方で、リコールが発生したLG化学(韓国)がマイナスに影響しました。

4 2021年9月末～2022年2月末 | 期間内騰落率 -8.3%

2021年中はテクノロジーに関する業種がプラスに寄与しました。一方で、2022年に入ると米国の利上げ予想や地政学リスク等を背景にアンシス(米国)等テクノロジーに関する業種がマイナスに影響しました。

(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの運用に影響を与えた銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・設定来騰落率および期間内騰落率は基準価額(分配金再投資)を基に算出しています。

パフォーマンス寄与度は、実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンド」の運用状況です。

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。・GRAN NEXT モビリティは、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンド」クラスI2・円建て」を主要投資対象とします。

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度上位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
ライナス・レア・アース	原材料	2.9%	2.1%
オン・セミコンダクター	テクノロジー	3.1%	1.7%
シャンハイ・プータイライ・ニュー・エナジー・テクノロジー	システム・部品	1.2%	1.2%
シュナイダーエレクトリック	インフラ	3.2%	1.2%
ASMLホールディング	システム・部品	2.9%	1.2%

投資対象ファンドのパフォーマンス寄与度下位5銘柄

(期間：2021年1月19日（当ファンド設定日）～2021年12月31日、日次)

銘柄	業種	組入比率	寄与度
LG化学	システム・部品	2.5%	-2.0%
ブルーム	テクノロジー	0.8%	-1.9%
ジーリー・オートモービル・ホールディングス	システム・部品	2.6%	-1.0%
ハノン・システムズ	システム・部品	2.3%	-0.8%
ジョンソン・マッセイ	原材料	0.8%	-0.7%

(出所) ブラックロックのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。
(2021年12月末時点) ・寄与度は当ファンドの投資対象ファンドに対する概算の寄与度をブラックロックが計算したものです。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

パフォーマンス寄与度上位1位銘柄 ライナス・レア・アース

業種	原材料
国・地域	オーストラリア
組入比率	2.9 %

企業概要

探鉱会社。セリウム、ネオジム等のレアアース鉱物の探鉱・採掘を手掛ける。

運用チームのコメント

レアアースは、スマートフォン等の電子機器やEVの電源に使用されるリチウムイオン電池の原料となる等、今後も高い需要を見込んでいます。同社は中国企業以外で大規模にレアアースを取り扱う数少ない企業の一つで、今後も成長が期待されます。

株価の推移（ご参考）

(期間：2021年1月19日（設定日）～2021年12月31日、日次)



(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度上位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。表示桁未満四捨五入。【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご確認ください。

業種	システム・部品		
国・地域	韓国	組入比率	2.5 %

企業概要

大手石油化学会社。石油化学製品やプラスチック樹脂、工業原料などの製造を手掛ける。

運用チームのコメント

2021年同社はEV向けバッテリーのリコール問題等により、株価が下落しました。同社は今後、リチウムイオン電池製造に力をいれる計画もあり、長期的な成長を見込み、同社の保有を継続しています。

株価の推移（ご参考）



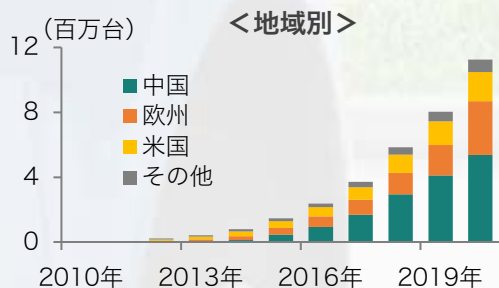
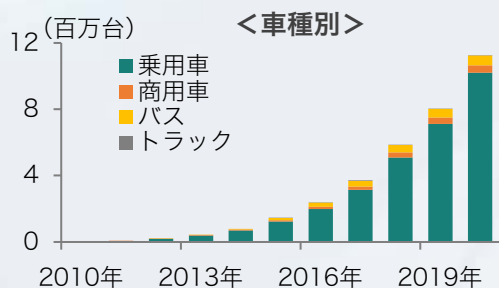
(出所) ブラックロックのコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
 ・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、パフォーマンス寄与度下位1位銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・組入比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。・上記グラフには、当該銘柄を保有していない期間が含まれる場合があります。

当ファンドの今後の運用方針

世界中で気候変動への対応が迫られているなか、各国政府は気候変動に対する政策を打ち出しており、当ファンドにとって、追い風となる状況が続くと考えています。

EUは2050年までにカーボンニュートラルを達成するための計画を発表し、推進策の1つとして、自動車の二酸化炭素排出量制限を強化、2035年までにガソリン・ディーゼル車の新車販売が禁止される見込みです。米国や中国でも、2050年までにカーボンニュートラルの達成を目指し、バイデン政権では、乗用車だけでなくEVバス等への投資など、様々な環境政策が打ち出されています。当運用チームでは、モビリティ分野における様々なイノベーションはまだまだ過小評価されており、投資妙味があると見ています。また、川上の原材料メーカーから川下のインフラメーカーまで幅広く投資対象とする中で、モビリティ分野のトレンドや需要をいち早く捉えるためには、川上の原材料メーカーの動向をキャッチアップする必要があると考えています。そのため、EV用電池メーカーに加えて、EV用電池に関連する原材料メーカーの両方に注目しています。

世界のEV市場



(出所) ブラックロックのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成 (期間) 2010年～2020年、年次
 ・上記は、2021年12月末時点のものであり今後変更になる場合があります。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

ファンドの目的・特色

◆**ファンドの目的** (GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ)
日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

◆ファンドの特色1.

GRAN NEXT エネルギー

主として日本を含む世界各国の持続可能なエネルギー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- 持続可能なエネルギー関連企業とは、再生可能エネルギー技術・開発、代替燃料、エネルギー効率化、エネルギー貯蔵、エネルギー・インフラを含めた、代替エネルギーおよびエネルギー技術の分野で経済活動を行う企業。
- 石炭・消耗燃料、石油・ガス探査・開発、総合石油・ガスのセクターに分類される企業には投資を行いません。

GRAN NEXT テクノロジー

主として日本を含む世界各国のテクノロジー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

GRAN NEXT フード

主として日本を含む世界各国の食品・農業関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- 食品・農業関連企業とは、包装、加工、流通、技術、食品関連・農業関連サービス、種子、農薬・食品添加物、食品生産の分野で経済活動を行う企業。

・DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

※ ファンド*は、外国投資法人である投資対象ファンド*の投資信託証券(クラスI2・円建て(GRAN NEXT エネルギーはX2・円建て))を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。

*1: ファンド	*2: 投資対象ファンド
GRAN NEXT エネルギー	ブラックロック・グローバル・ファンズ・サステナブル・エナジー・ファンド
GRAN NEXT テクノロジー	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・テクノロジー・ファンド
GRAN NEXT フード	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンド
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド
GRAN NEXT モビリティ	ブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンド

「GRAN NEXT」を構成する各ファンド間でスイッチングが可能です。

「GRAN NEXT」は、「GRAN NEXT エネルギー」、「GRAN NEXT テクノロジー」、「GRAN NEXT フード」、「GRAN NEXT ヘルスサイエンス」、「GRAN NEXT モビリティ」、「GRAN NEXT マネー・プールファンド」の6ファンドで構成されています。

販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。なお、スイッチングにより換金をする場合は、換金代金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。

2. 各投資先外国投資法人の運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社*3が行います。

- ブラックロックグループは1988年に設立され、世界35か国以上に拠点を有する独立系の資産運用会社グループです。
- 同グループは世界に2,300名を超える運用のプロフェッショナルを有し、世界最大級の資産運用残高約995兆円を誇ります。(2021年3月末時点、為替レートは1米ドル=110.5円)
- 各投資先外国投資法人を運用する株式チームは、充実した調査体制を有しており、同グループのリソースを最大限に活用します。

- *3 ブラックロックグループの投資顧問会社は、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント・LLC[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド[イギリス]、ブラックロック(シンガポール)リミテッド[シンガポール]のことであります。
- 投資顧問会社は、運用の指図権限をさらにブラックロックグループの他の会社に委託する場合があります。(出所)ブラックロックの資料を基に三井UFJ国際投信作成

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

主として日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- ヘルスサイエンス関連企業とは、医療、医薬品、医療機器・用品、バイオテクノロジー開発の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT モビリティ

主として日本を含む世界各国の輸送関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- 輸送関連企業とは、輸送に使用・適用されるテクノロジーの研究、開発、テクノロジーを利用した製品・サービスの製造、販売の分野で経済活動を行う企業。
- 投資先外国投資法人では、自動車の電化や自律化、コネクティッドカーへの移行から利益を得る企業に着目し、原材料(資源やバッテリー資源等)、部品やコンピュータ・システム(バッテリーやケーブル等)、テクノロジー(自動車センサー技術等)、インフラ(電気自動車の充電スポット等)等の経済活動を行う企業の株式等を選定します。主に先進国の企業の株式等に投資を行います。また、新興国にも投資を行います。

3. 原則として、為替ヘッジを行いません。

- 実質組入外貨資産について、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

4. 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

GRAN NEXT マネー・プールファンド

◆ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。

◆ファンドの特色

1. わが国の短期公社債等を中心に投資し、主として安定した利子等収益の確保を図ります。

※ 実際の運用はマネー・マザーファンド受益証券を通じて行います。

2. 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30% (税抜 3.00%) ※GRAN NEXT マネーボールファンドは、かかりません。 (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	【GRAN NEXT エネルギー】 日々の純資産総額に対して、年率1.881% (税抜 年率1.710%)をかけた額 ・投資対象とする外国投資信託証券の投資顧問会社報酬・委託会社が受ける報酬から、当該外国投資信託証券のファンド組入額の年率0.68%以内が支払われます。 【GRAN NEXT フード】 【GRAN NEXT モビリティ】 ■当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133% (税抜 年率1.030%)をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.68% (マネー・マザーファンドは除きます。) ■実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.813%程度 (税抜 年率1.710%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 【GRAN NEXT テクノロジー】 【GRAN NEXT ヘルスサイエンス】 ■当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133% (税抜 年率1.030%)をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.75% (マネー・マザーファンドは除きます。) ■実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.883%程度 (税抜 年率1.780%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 ※投資対象とする外国投資信託証券では、保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。また、投資対象とする外国投資信託証券で有価証券の貸付を行った場合、その収益の一部がブラックロックグループの会社へ支払われます。投資対象とする外国投資信託証券においては、実質的な保管報酬および事務処理に要する諸費用は事前に把握ができません。 【GRAN NEXT マネーボールファンド】 日々の純資産総額に対して、年率0.605% (税抜 年率0.550%)以内をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 監査法人に支払われるファンドの監査費用/有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料/投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等 (GRAN NEXT マネーボールファンドを除く各ファンド)/有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用/その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

販売会社は、左記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

お客さま専用フリーダイヤル

0120-151034

(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

投資リスク

基準価額の変動要因：「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ」の基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等、「GRAN NEXT マネーボールファンド」の基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ」が価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。「GRAN NEXT マネーボールファンド」が価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

本資料に関してご留意いただきたい事項

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は下記の販売会社まで

2022年2月28日時点

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

三菱UFJ 国際投信